

—総括表—

◆ 事業計画

<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>高齢化率が、47.6%と旭区平均(29.7%)に比べてかなり高い地域であることに加えて、高齢で生活保護を受けており、さらに身寄りがいないなど、複合的な生活課題が抱えた方も多く住まわれている地域である。</p> <p>また、この地域では、子どもの割合は少ないが、支援が必要な子供がいることを把握しており、地域住民による主体的な見守り活動や支援が重要であるが、地域の高齢化といった状況を背景に担い手不足が顕著である。</p> <p>そのような地域であるため、地域団体や福祉施設、専門機関とのネットワークの構築を強固にし、連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域福祉保健計画の地区別計画第4期振返りおよび第5期計画への更新にあたり、推進母体の支えあい連絡会とそのコア会議を事務局としてサポートし、住民と共に地域ニーズに応じた計画を作り上げる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	近隣の福祉施設との連携を充実させるために、隔月(年6回以上)で意見交換の場を設け、施設の地域貢献活動をサポートする。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民と福祉施設とのコーディネート役をケアプラザが務め、気軽に訪問し合い、ボランティアに参加できるような関係づくりを進める。その一環として11月には、地域内の施設と共同で地域住民との交流事業を開催する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域ケア会議(個別・包括レベル)を四半期ごとに1回以上開催し。多角的な視点をもてるよう、協力医、精神科医、その他専門職、協賛店、地域の方々から地域のニーズを収集し、特に困難事例の解決に向けて取り組んでいく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支援が必要な子どもたちを把握し、必要な支援を行っていくために、子どもの居場所づくりミーティングを毎月開催、専門職や民生委員も交えて情報交換を行う、その情報を基に子ども食堂の開催や、見守り活動を行うことで課題解決へとつなげる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

<input type="checkbox"/> 振り返り
<input type="checkbox"/> 区からのコメント

令和7年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	マニュアルやダブルチェックシートが効果的に運用されるよう、事故防止及び個人情報保護研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を発揮するかたちで自立した生活を営む事ができるように計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー専従1名	ケアマネジャー2名(うち管理者兼務1名)
契約者数		

### 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00～16:10 【定員】40名【通所介護】	【実施日数】  【提供時間】  【定員】	【実施日数】  【提供時間】  【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:706円 要介護2:833円 要介護3:965円 要介護4:1,097円 要介護5:1,231円 ●その他利用料(1回分) 入浴介助加算Ⅰ:43円 中重度者ケア体制加算:48円 若年性認知症利用者受入加算:64円 サービス提供体制加算Ⅱ:19円 処遇改善加算Ⅰ(おおよそ(基本額+加算額)×9.2%) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50～100円 【第1号】 ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分 要支援1:1,928円 要支援2(週1回):1,792円 要支援2(週2回):3,882円 ●その他利用料(1ヶ月分) サービス提供体制加算Ⅱ(週1回:78円、週2回:155円) 処遇改善加算Ⅰ(週1回:185、週2回:371) ●その他利用料(1回分) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50～100円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	・管理者兼相談員1名 ・相談員2名以上(介護職兼務含) ・機能訓練指導員3名以上 ・看護師3名以上 ・介護士10名以上(相談員兼務含) ・厨房4名以上 ・ドライバー3名以上		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜（参考）地域活動交流＞

収入の部

（単位：円）

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
指定管理料	17,232,114	0	17,232,114	0	17,232,114	横浜市より
内 受領額	17,232,114		17,232,114		17,232,114	
内 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
その他	4,046,000		4,046,000		4,046,000	
収入合計	21,278,114	0	21,278,114	0	21,278,114	

支出の部

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
人件費	12,583,431	0	12,583,431	0	12,583,431	法人本部経費は含まれていません。
内 本俸	10,000,000		10,000,000		10,000,000	
内 社会保険料	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
内 手当計	0		0		0	
内 健康診断費	20,000		20,000		20,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	250,000		250,000		250,000	
内 その他	313,431		313,431		313,431	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	0	2,045,000	法人本部経費は含まれていません。
内 旅費	20,000		20,000		20,000	
内 消耗品費	400,000		400,000		400,000	
内 会議随い費	20,000		20,000		20,000	
内 印刷製本費	150,000		150,000		150,000	
内 通信費	400,000		400,000		400,000	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支	0		0		0	
内 内 その他	0		0		0	
内 備品購入費	500,000		500,000		500,000	
内 図書購入費	30,000		30,000		30,000	
内 施設賠償責任保険	0		0		0	
内 職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
内 振込手数料	2,000		2,000		2,000	
内 リース料	20,000		20,000		20,000	
内 手数料	2,000		2,000		2,000	
内 地域協力費	0		0		0	
内 公租公課	351,000	0	351,000	0	351,000	
内 事業所税	100,000		100,000		100,000	
内 消費税	100,000		100,000		100,000	
内 印紙税	100,000		100,000		100,000	
内 その他	51,000		51,000		51,000	
内 その他	50,000		50,000		50,000	
事業費	550,000	0	550,000	0	550,000	法人本部経費は含まれていません。
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000		500,000	
内 その他	50,000		50,000		50,000	
管理費	5,625,683	0	5,625,683	0	5,625,683	法人本部経費は含まれていません。
内 光熱水費	4,822,683		4,822,683		4,822,683	
内 清掃費	35,000		35,000		35,000	
内 機械警備費	180,000		180,000		180,000	
内 設備保全費	580,000	0	580,000	0	580,000	
内 空調衛生設備保守	500,000		500,000		500,000	
内 消防設備保守	0		0		0	
内 電気設備保守	0		0		0	
内 害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	50,000		50,000		50,000	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	8,000		8,000		8,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0		0		0	
内						
支出合計	21,278,114	0	21,278,114	0	21,278,114	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	0	500,000
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	0	△ 500,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,147,376	0	25,147,376		25,147,376	横浜市より
内 受領額	25,147,376		25,147,376		25,147,376	
戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,150,623		6,150,623		6,150,623	横浜市より
内 受領額	6,150,623		6,150,623		6,150,623	
戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	290,000		290,000		290,000	
収入合計	31,771,999	0	31,771,999	0	31,771,999	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,478,999	0	25,478,999	0	25,478,999	法人本部経費は含まれていません。
内 俸	18,000,000		18,000,000		18,000,000	
社会保険料	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
手当計	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
健康診断費	20,000		20,000		20,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000		500,000	
その他	958,999		958,999		958,999	
事務費	3,402,000	0	3,402,000	0	3,402,000	法人本部経費は含まれていません。
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	300,000		300,000		300,000	
会議諸費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	300,000		300,000		300,000	
通信費	300,000		300,000		300,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
戻 入	0		0		0	
備品購入費	800,000		800,000		800,000	
図書購入費	100,000		100,000		100,000	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	500,000		500,000		500,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	40,000		40,000		40,000	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費	0		0		0	
公租公課	350,000		350,000		350,000	
事業所税	100,000		100,000		100,000	
内 消費税	100,000		100,000		100,000	
戻 入	100,000		100,000		100,000	
その他	50,000		50,000		50,000	
その他	500,000		500,000		500,000	
事業費	1,286,000	0	1,286,000	0	1,286,000	法人本部経費は含まれていません。
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000		352,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000		120,000	
その他			0		0	
管理費	1,479,000	0	1,479,000	0	1,479,000	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	1,260,000		1,260,000		1,260,000	
清掃費	10,000		10,000		10,000	
機械警備費	50,000		50,000		50,000	
設備保全費	153,000	0	153,000	0	153,000	
空調衛生設備保守	130,000		130,000		130,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	13,000		13,000		13,000	
共益費	0		0		0	
その他	6,000		6,000		6,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
その他			0		0	法人本部経費は含まれていません。
支出合計	31,771,999	0	31,771,999	0	31,771,999	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	656,000	0	656,000	0	656,000
自主事業 収支	△ 656,000	0	△ 656,000	0	△ 656,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,400		5,400	7,400		7,400	14,000		14,000	100,000		100,000	4,000		4,000
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	収入合計(A)	5,400	0	5,400	7,400	0	7,400	14,000	0	14,000	100,000	0	100,000	4,000	0	4,000
支出	人件費	500		500	500		500	12,000		12,000	74,000		74,000	3,000		3,000
	事務費	2,800		2,800	4,500		4,500	1,500		1,500	10,000		10,000	500		500
	事業費	400		400	500		500	25		25	13,000		13,000	500		500
	管理費	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	1,700	0	1,700	1,900	0	1,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	介護予防プラン委託料	1,700		1,700	1,900		1,900	0		0	0		0	0		0
		0		0			0	0		0	0		0	0		0
		0		0			0	0		0	0		0	0		0
		0		0			0	0		0	0		0	0		0
		0		0			0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0			0	0		0	0		0	0		0
	支出合計(B)	5,400	0	5,400	7,400	0	7,400	13,525	0	13,525	97,000	0	97,000	4,000	0	4,000
収支 (A)－(B)		0	0	0	0	0	0	475	0	475	3,000	0	3,000	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者同士で、日ごろの介護にまつわる苦労や疑問等を相談・話合い、息抜きやストレス解消、介護負担の軽減になるような場所づくり。	5:地域		西ひかりが丘商店街の喫茶カブカにて、介護者・包括職員とでサロン形式で雑談する。毎月第二金曜日 14時～15時	0	0	0	0
2	民生委員懇談会	平成22年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	5:地域		民生・児童委員と地域交流CO、生活支援CO、包括3職種、居宅、市営のLSA等で情報交換や研修等を行う。旭区地区担当や区社協等が参加することもある。 ・毎月第2金曜日	0	0	0	0
3	認知症普及啓発「世界アルツハイマー月間」	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	アルツハイマーデーに合わせ、認知症に関する知識の普及啓発を実施し、認知症高齢者等への理解を得て、地域での見守りが効果的になされるようになる。	5:地域		・世界アルツハイマー月間を中心に、館内でのほり(区役所から貸与)資料等の掲示、当法人の熊のキャラクターに認知症啓発のタスキをかけて周知を行った。(9月1日～9月30日)	0	0	0	0
4	司法書士個別相談会	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期の相続、成年後見等の法的的門檻に関して司法書士に個別に無料相談できる機会を作る。	1:高齢者		田中司法書士事務所 田中司法書士に相談会を依頼。広報、申込についてはケアプラザが取りまとめる。R5年7月から奇数月第2土曜日午前中に1ケース30分で4件まで10時～12時の時間を確保する。	0	0	0	0
5	熱中症予防出張講座	令和5年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	熱中症患者の増える夏季に向けて、地域高齢者が実践できる予防策を周知することで当事者意識を高め、正しい対処方法を学ぶことにより熱中症罹患を予防する。	1:高齢者		既存である大人の遊びバ学ビバの場を活用することで、集客が期待できる。また普段からコミュニティに参加して身体を動かしている層に、物理療法のみならずアプローチをかけることで運動療法との相乗効果を狙う。	0	0	0	0
6	GoGo健康体操	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、講師による健康体操指導を年24回開催	1:高齢者		地域の高齢者を対象に専門講師による体操指導や講話を通して、参加者の介護予防・認知症予防を図る。	0	0	0	0
7	GOGO健康体操 口腔ケア講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者		GOGO健康体操に続けて口腔ケア講座をおこなうことで集客が期待できる。また体操と口腔衛生の両面からアプローチをかけることで相乗効果を狙う。	0	0	0	0
8	GOGO健康体操 栄養講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスのとれた食事を摂ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者		GOGO健康体操に続けて栄養教室をおこなうことで集客が期待できる。また体操と栄養指導の両面からアプローチをかけることで相乗効果を狙う。	0	0	0	0
9	URハマトレ体操	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		URハマトレ教室を主宰している保健活動委員の吉田様より依頼あり、共同事業としている。通常はハマトレの映像を見ながら体操を行う。年4回程度栄養教室や体力測定などの講座を組み込む。	0	0	0	0
10	URハマトレ体力測定	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		URハマトレ体操の時間で体力測定を行うことで集客を期待。スポーツ協会から講師を呼ぶことで専門的な知識からのアプローチができ、意識の向上などの相乗効果を狙う。URハマトレ教室を主催している保健活動推進員より依頼があり共同事業としている。	0	0	0	0
11	URハマトレ体操 体操指導	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者		定期的に体操をする習慣となっているURハマトレ体操の時間に、外部講師を呼び、指導を受けることで専門的な知識からのアプローチができ、意識の向上などの相乗効果を狙う。	0	0	0	0
12	ひだまり	平成20年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者を対象にした介護予防サロン。健康講話、体操や合唱、脳トレを行いつつ、季節ごとの簡単な工作やゲストによるプログラムを通して、外出・社会参加の場とする。	1:高齢者		月に2回のサロンとして、第2水曜は太極拳と大正琴による伴奏の合唱、脳トレを行い、第4水曜は健康体操とピアノ伴奏による合唱、脳トレを行う。毎回、包括保健師による健康講話を行う。年に数回、朗読劇や紙芝居などのボランティアを招く。	0	0	0	0
13	にこにこ会	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り	2:障害児・者		会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。旭区地域生活支援拠点ほっとぽと「共に歩む市民の会」と情報を共有する。 ・毎月第4火曜日	0	0	0	0
14	ひかりの会	平成18年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。	2:障害児・者		月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動。 ・毎月第4火曜日	0	0	0	0
15	古典を学ぶ会	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通して、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1:高齢者		講師のご住職の方による、今年度は引き続き教養抄の朗読など。 ・毎月第4木曜日	0	0	0	0
16	囲碁教室	令和1年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。	2:障害児・者	1.5	外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とする。ボランティアは福祉囲碁協会。 ・毎月第1・3木曜日、第2・4水曜日	0	0	0	0
17	歌謡体操	平成25年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5:地域	1	カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に利用し、歌いながら体を動かしていけるようにする。また、ライブDAMだけに捉われず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立てていく自主性のきっかけとしていた。 ・毎月第1・3月曜日	0	0	0	0



■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
18	みんなの庭	平成26年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	園芸を通した世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。地域のあいさつ運動の一助となる活動。	5:地域		ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2〜4回植え替え・及び維持管理に参加していただく。子どもから高齢者までの地域の方全て対象とする。	0	0	0	0
19	楽しく健康！健康マージャン	平成29年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的とし、高齢者の居場所として開催。	1:高齢者	5	麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。 ・第4金曜日	0	0	0	0
20	シニアボランティアポイント登録研修会	令和1年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア人材発掘のため、高齢者に活動の意義を感じてもらい、地域内での担い手を増やす。	1:高齢者	5	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を開催し、活動先の紹介を行う。 ・不定期	0	0	0	0
21	ゆるっとウォーキングの会	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりがちな男性などの外出のきっかけづくり。近隣の公園やウォーキングコースを散歩することで、季節の変化を意識しながら、健康維持のための体力向上をねらいとする。	1:高齢者	5	準備体操後、近隣の公園等へウォーキングし、周囲の自然探索をしながら交流を深める。年3回程度の遠出を参加者で企画し、その相談を含めて会の運営をみんなで担えるように進めていく。雨天時は多目的ホールで体操のあと、次回のウォーキングコース相談や地域の地理や歴史などをプロジェクターを使ってYouTubeで鑑賞する時間とする。毎月第2土曜日	0	0	0	0
22	歌うチャタリング体操	令和5年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	上白根地区在住の講師による、高齢者向けの歌いながら行う高齢者のための運動『歌うチャタリング体操』を開催することにより、新たな事業として地域に展開できるかをリサーチする。	1:高齢者	5	NPO法人チャタリングライフサポート協会所属の上白根地区在住の講師を招き、自分らしく生きる“いきいき健康長寿”を目指す『歌うチャタリング体操』を地域の高齢者に体験していただく。	0	0	0	0
23	メロディーカフェ	令和5年度	1:高齢者	1:優先的に取り組み	ケアプラザで活動している音楽関係の団体に参加していただくことで活動の場を広げ、カブカブさんとのコラボレーションにより、障害のある方とも、高齢者の方とも、共生するあたたかい地域の居場所づくりをねらいとする。	1:高齢者	2,3,5	上白根地区で活動しているボランティアによる音楽演奏を中心に時宜に合ったミニイベントをカブカブの喫茶を提供し、おしゃべりの場を提供する。	0	0	0	0
24	ひかりが丘健康応援フェスタ	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域内の福祉施設と共同で事業を開催することで連携を深めると同時に、地域住民と施設とのつながりを育む。	6:事業者	5	企画段階から施設スタッフに参加いただき、地域貢献の行事として体操教室や健康講座等のプログラムを開催する。 ・年1回(11月)	0	0	0	0
25	食品衛生講習会	令和1年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解していただく。	5:地域		日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。 ・年1回(7月)	0	0	0	0
26	認知症サポーター養成講座	平成17年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症への理解を深め、関係機関と連携しながら地域で支える体制を整える。	5:地域	1	旭区ひまわりの会とも連携しながら講座を開催する。 ・不定期	0	0	0	0
27	貸館団体登録説明会	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ貸館利用登録の方法と内容に置いての注意点・留意点を利用団体に理解してもらう。	1:高齢者	5	ケアプラザ貸館利用の団体登録の説明、利用についての注意点・留意点の説明、災害時の避難経路の確認及び、ケアプラザが福祉避難所であることの説明 年2回開催	0	0	0	0
28	ボランティア交流会	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアの育成、介護予防普及強化、ボランティア間の交流	5:地域	1	令和6年度のケアプラザ他でのボランティア活動の紹介及び報告による交流と包括担当看護師による介護予防講話、ボランティア同士によるグループワークによる地域支援の啓発 3月第1日曜に開催	0	0	0	0
29	モルック体験会	令和6年度	7:共催(1と2と4)	2:優先的に取り組み	モルックのゲームを通じて、地域の高齢者に運動と交流の場を提供するとともに、児童と一緒に遊ぶことで世代を超えた関係づくりにつなげる。	1:高齢者	4	自治会、保健活動推進員、スポーツ活動推進委員、放課後キッズクラブ等、地域内で役割を担う多様な主体と連携し、幅広い住民の方にゲームを体験してもらい、自主的なサークルづくりを支援する。	0	0	0	0
30	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザについてブース来場者に知っていただくための機会とする。	5:地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・啓発グッズ配布	0	0	0	0
31	GOGO健康体操 健康講座	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	住民からの医療相談で頻出する『逆流性食道炎』について旭中央総合病院の外科医師に講義してもらい、予防方法や治療方法についての知識を普及させる。	1:高齢者	5	GOGO健康体操に続けて講座をおこなうことで集客が期待できる。また体操と体調管理の両面からアプローチをかけることで相乗効果を狙う。	0	0	0	0
32	URハマトレ 健康講座	令和7年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	住民からの医療相談で頻出する『便秘』について旭中央総合病院の外科医師に講義してもらい、予防方法や対処方法についての知識を普及させる。	1:高齢者	5	URハマトレ体操の時間で講座を実施。URハマトレの主催者である保健活動推進員より講座の依頼があり、本講座を包括の方で選定し保健活動推進員より了承している。	0	0	0	0
33	世代間交流(歌と体操)	令和7年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者と近隣の保育園児が歌や体操を通じて世代間の交流を行い、あいさつをし合える関係づくりへとつなげる。	1:高齢者	5	地域住民のサロンやデイサービスに近隣の施設から園児を招いて、歌や踊りを披露してもらうながら交流を行う。	0	0	0	0
34	支えあい連絡会	平成16年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地福の取り組み推進のために、地域の代表が集まり、日頃の活動の情報交換等を行う。	5:地域	6	委員の活動報告と部会の活動報告を中心に地福の活動について意識の共有をはかる。 年間3〜5回程度	0	0	0	0
35	地福目標別3委員会	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地福の取り組みを具体的に検討するための協議体。	5:地域	6	地福の3つの目標別に3つの委員会(あいさつ、見守り、防災)を設置。支えあい連絡会メンバーを中心に活動の推進に向けて話し合いを行う。	0	0	0	0
36	支えあい連絡会 コア会議	平成16年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	支えあい連絡会の主要メンバーが集まり、会の運営や地福計画策定、取り組みの振り返り等を行う。	5:地域	6	支えあい連絡会開催前に、議題の検討や会議資料の準備等を行う。	0	0	0	0